

JST 理事長 記者説明会

令和5年 1月 30日



科学技術振興機構

革新的GX技術創出事業 (GteX) 準備中

令和4年度補正予算
基金 496億円/5年

2050年カーボンニュートラル実現に向け、産業界の技術開発 (GI基金事業等) と連動した大学・国研における研究基盤強化と人材育成

環境負荷が小さく、飛躍的高性能な
革新的蓄電池

水素機能の本質理解に基づく
水素イノベーション

未知の代謝経路解明による
新たなバイオ生産技術

全国の大学、国研の研究者がワンチームとなり事業を推進

チーム型研究の先行事例 (ALCA-SPRING)

JST 次世代蓄電池プロジェクト：「ALCA-SPRING」
(2013-2022：総額約190億円)

全国の大学・国研のトップレベル研究者をネットワークとしてつなぎ、オールジャパンの大規模なチーム型研究開発を展開。

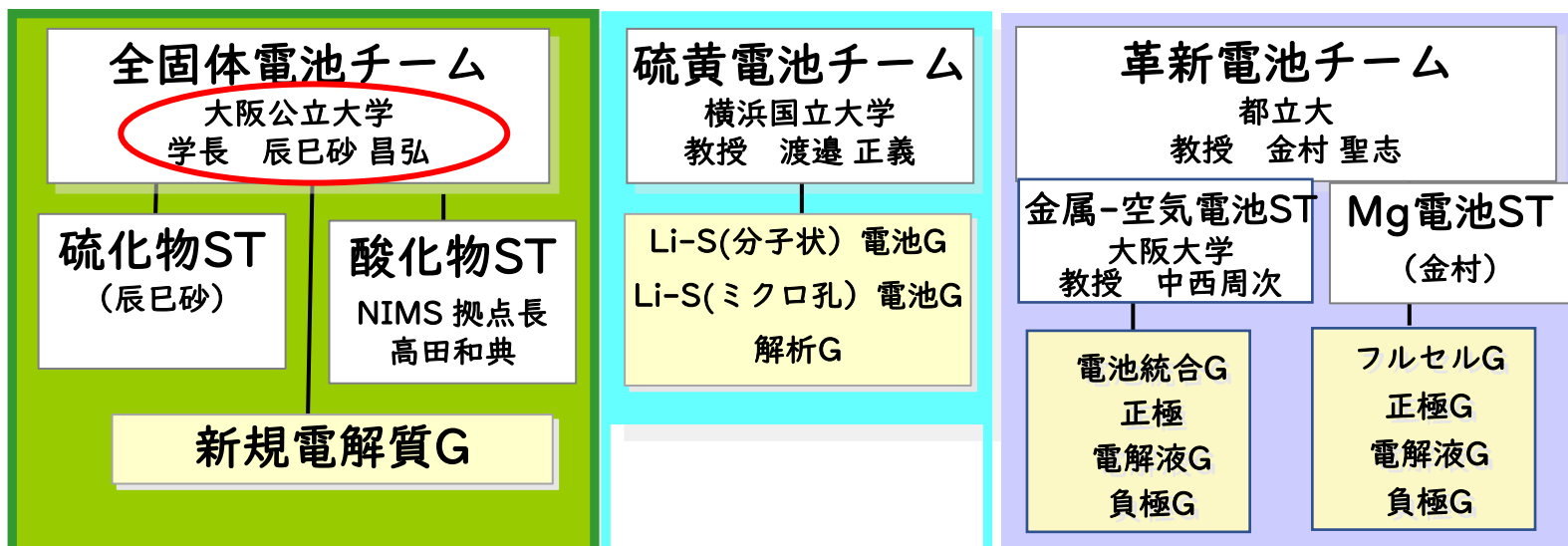
(40機関・70研究室・約170人が参画)

産業界に見える「ネットワーク」を形成することで、産学連携が促進。また、研究成果のみならず産業界への持続的な人材供給にも実績。同時に面的な国際連携も推進。

ALCA-SPRING体制 (JST)

運営総括(PO)
物質・材料研究機構 フェロー 魚崎 浩平

総合チームリーダー
東京都立大学 教授 金村 聖志

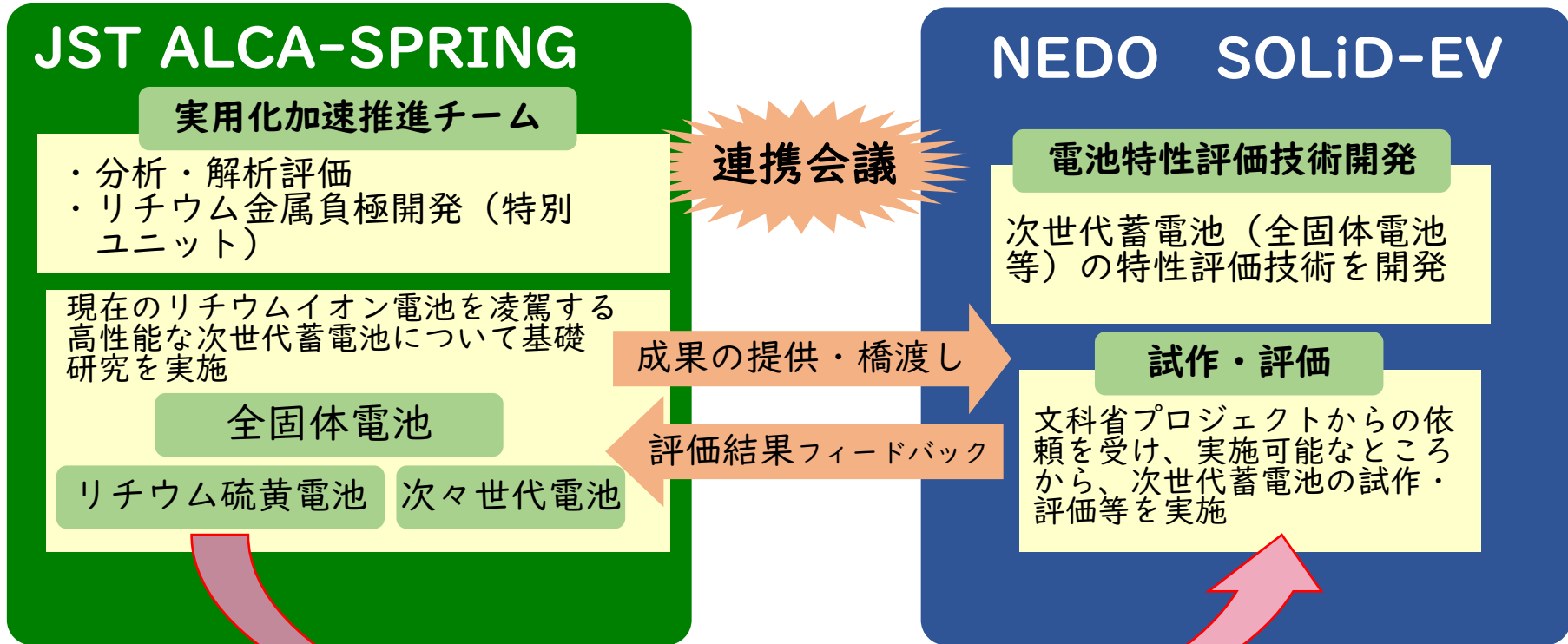


蓄電池基盤プラットフォーム：
NIMS、産総研（関西）

NEDOプロジェクトとの連携関係

文部科学省

経済産業省



硫化物全固体電池の研究成果を
研究者ごと移転（2018年）

本日の登壇者



うおさき こうへい
魚崎 浩平

- 魚崎浩平（物質・材料研究機構 フェロー、北海道大学名誉教授）
 - ・ JST 先端的低炭素化技術開発(ALCA) 事業統括/ALCA 特別重点領域「蓄電池」(ALCA-SPRING) 運営統括、未来社会創造事業「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域 運営統括
 - ・ JST 研究開発戦略センター(CRDS)上席フェロー

1969年大阪大学工学部応用化学科卒業。1971年同学工学研究科応用化学専攻修士課程修了、三菱油化(株)入社(～1978年)。1974年～1976年南オーストラリア州立Flinders大学博士課程、1977年Ph.D.取得。1978年～1980年Oxford大学研究員。1980年北海道大学理学部化学科講師、1981年助教授、1990年教授。2010年～物質・材料研究機構。



たつみさご まさひろ
辰巳砂 昌弘

- 辰巳砂 昌弘
 - ・ 大阪公立大学学長（2022年～）
 - ・ JST ALCA-SPRING全固体電池チームリーダー(2013年-2023年)

1978年大阪大学工学部応用化学科卒業、1980年大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士前期課程修了、1984年工学博士（大阪大学）、1980年大阪府立大学工学部助手、1988年米国パデュュー大学、米国アリゾナ州立大学 博士研究員（～1989年）、1991年大阪府立大学工学部講師、1993年同工学部助教授、1996年同工学部教授、2015年同大学院工学研究科長、2019年大阪府立大学学長、2022年大阪公立大学学長

専門研究分野：無機材料化学、固体イオニクス、ガラス科学